



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-53

(2022. 7. 13)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の女性職員比率の動向（2021年度末）

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

- 女性の活躍拡大が広く社会全体で叫ばれるなか、信用金庫の常勤役職員に占める女性職員の割合（女性職員比率）は、2021年度末に4割を超えた。
- 地区別では、北陸の44.3%、四国の42.0%など全11地区中6地区で女性職員比率が4割を超える。2011年度末との比較では、四国が9.6ポイントの比率上昇となった。
- 2011年度末から2021年度末における信用金庫別の女性職員数の増減状況をみると、①人数増加が148金庫、②増減なしが7金庫、③人数減少は99金庫となった。
- 2021年度末の信用金庫別の女性職員比率は、①35%未満が32金庫、②35～40%未満が80金庫、③40～45%未満が94金庫、④45%以上は48金庫となった。

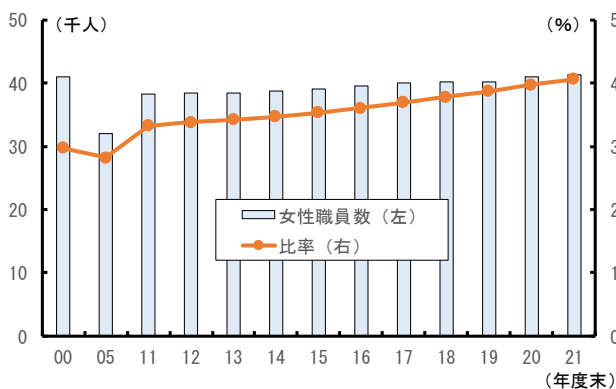
※本稿は、派遣・パート職員等の非正規職員を含まない常勤役職員を対象とする。また、女性職員比率は、常勤役員を含む常勤役職員数を分母とする。

1. 全国の様況

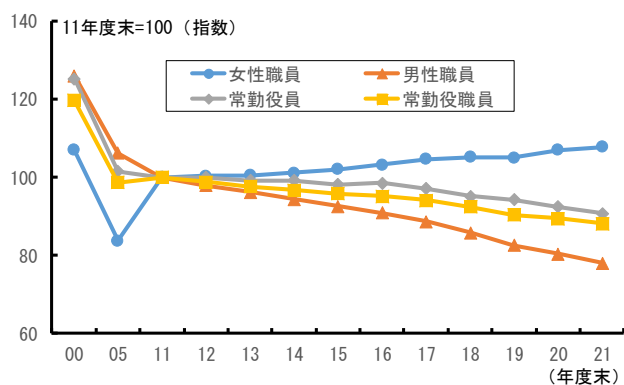
2021年度末の信用金庫の女性職員比率（常勤役職員に占める割合）は、前期比0.8ポイント上昇の40.6%となり、2011年度末から7.3ポイントの上昇した（図表1）。

2011年度末を100として指数化し男性職員、女性職員などの変化状況を確認すると、男性職員の減少（2021年度末に77.9）を主因に常勤役職員が88.1となった一方で、女性職員は107.6に上昇しており、男女別で増減の差が広がっている（図表2）。

（図表1）女性職員比率の推移



（図表2）女性職員等の変化状況



- （備考）
1. 本稿では、他業態との合併等を考慮しない。
 2. 本稿では、切捨ての関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 3. 図表1から5まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

地区別の女性職員比率は、全 11 地区で 2011 年度末から上昇した（図表 3）。北陸、四国、近畿などの 6 地区で女性職員比率が 4 割を超え、また最も低い南九州でも 38.5%となるなど、女性職員比率の上昇は全国的な広がりと言える。

（図表 3）地区別の女性職員比率

（単位：％、ポイント、人）

地 区	00年度末	05年度末	11年度末	20年度末	21年度末	増減 P		女 性 職員数	1金庫あたり 女性職員
						00年度末比	11年度末比		
北海道	30.7	28.9	32.5	40.2	41.4	10.6	8.9	1,881	94.0
東 北	27.3	27.6	32.4	40.2	41.6	14.3	9.2	1,856	68.7
東 京	25.6	25.2	30.8	38.0	38.9	13.3	8.1	6,900	300.0
関 東	30.3	28.2	33.2	38.9	39.6	9.2	6.4	7,780	158.7
北 陸	33.4	32.0	36.3	43.0	44.3	10.9	8.0	1,265	84.3
東 海	32.9	29.6	34.8	40.6	41.6	8.6	6.7	8,412	247.4
近 畿	29.6	28.8	34.1	41.1	41.9	12.3	7.8	8,041	277.2
中 国	28.8	27.7	33.1	38.4	39.3	10.5	6.2	2,082	104.1
四 国	27.9	28.3	32.4	41.5	42.0	14.1	9.6	876	87.6
九州北部	32.6	29.9	34.3	39.7	39.5	6.8	5.1	936	72.0
南九州	29.3	27.8	30.6	37.4	38.5	9.2	7.9	1,177	90.5
全 国	29.7	28.2	33.2	39.7	40.6	10.9	7.3	41,296	162.5

（備考）沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

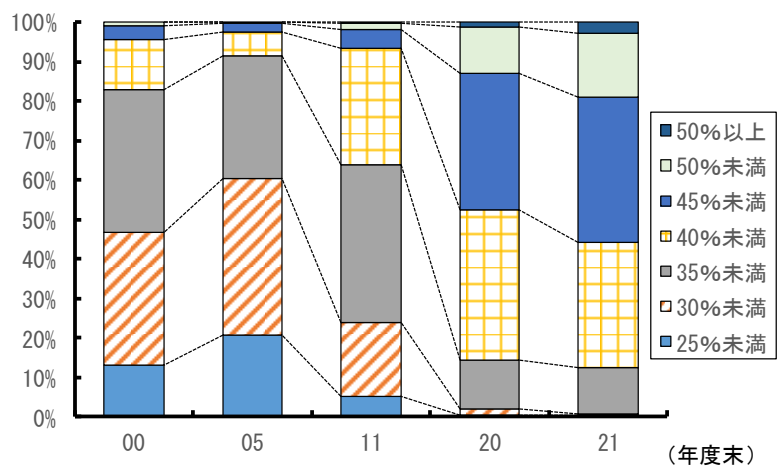
信用金庫別の女性職員数の増減状況を 2011 年度末と 2021 年度末で比較すると、増加が 148 金庫（構成比 58.2%）、減少は 99 金庫（同 38.9%）となった（図表 4、増減なしは 7 金庫）。

2021 年度末の信用金庫別の女性職員比率は、①35%未満が 32 金庫（同 12.5%）、②35%～40%未満が 80 金庫（同 31.4%）、③40%～45%が 94 金庫（同 37.0%）、④45%以上は 48 金庫（同 18.9%）となった。なお、女性職員比率が 5 割を超える信用金庫は 2011 年度末の 1 金庫から 2021 年度末には 7 金庫に増加している。

（図表 4）女性職員数の増減状況
（11→21 年度末）

（単位：金庫、％）		
分 類	金庫数	割 合
増 加	148	58.2
100人以上	9	3.5
50～99人	21	8.2
20～49人	30	11.8
10～19人	38	14.9
9人以下	50	19.6
増減なし	7	2.7
減 少	99	38.9
9人以下	53	20.8
10～19人	21	8.2
20～49人	20	7.8
50～99人	5	1.9
100人以上	0	0.0
全 国	254	100.0

（図表 5）信用金庫別の女性職員比率



（年度末）

以 上

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。